city & life

都市のしくみとくらし

no.110

Mar-Jun 2014

特集 都市とサイン

表紙・裏表紙――渋谷 photo:新井卓

巻頭言

景観とサインの幸せな関係とは

都市のなかには「サイン」、つまり「看板」や「案内板」、そして「屋外広告物」があふれている。商品ポスターに店の看板、液晶モニターに映し出されるデジタルサイネージ。デパートのショウウインドウ、老舗ののれん、居酒屋の赤提灯も「サイン」の一つだ。

「サイン」は景観と密接にかかわっている。なかでも商業的な「屋外広告物」は、景観を悪化させるものとみなされがちである。しかし、本当にそうだろうか。「サイン」のない都市空間に、美しい景観は生じるのだろうか。

屋外広告物は、2004年12月に景観法が施行されたことで、掲示される町の風土、景観に配慮することが求められるようになった。しかし、テレビCMのように映像や音も流す「デジタルサイネージ」を始め、新しいメディアの登場は、屋外広告物そのものを、従来とは異なる媒体に変えている。もはや「景観」とのかかわりだけでは論じられないだろう。

そもそも「サイン」とはなんなのか、都市や地域のなかで、どのような働き、役割を果たしているのか。都市とサインのこれからについて、考える。（編集部）

特集　都市とサイン

contents

ケーススタディ | サインを「地域の顔」にする　2

地元作家のイラストマップと連携した「小路めぐりサイン」**新潟県新潟市**

「金沢らしさ」を育む「屋外広告物審査会」の取り組み**石川県金沢市**

「のれん」を町の看板に。旧街道が引き立つ景観まちづくり**岡山県真庭市（旧勝山町）**

ルポ | 大手チェーン店の店づくりと景観のかかわり　20

インタビュー | サインの未来デジタルサイネージの可能性 | 中村伊知哉　24

グラビア | デジタルサイネージのある風景　28

連載 | スキマファイル① | 銀座のスキマ明治期に完成したネットワーク型路地空間　30

連載 | 子どもたちの「笑顔」に会いに行く① | **足立区立青井おひさま保育園**「木漏れ日のベンチ」　34

認定こども園 三春幼保園（光の子保育園）「テラスからも、すてきな生活をルンルン」

back number · information　38